

# 栗原市合併 プロジェクト参加者レポート

～伝えたい栗原がありました～

第四回目参加者  
からのご報告

今回プロジェクト一行が向かったのは  
栗原市 一迫・築館地区

春夏秋冬さまざまな  
生物を観察できる  
伊豆沼・内沼は、  
ラムサール条約の  
登録地に指定され  
ています。

11/8(日)

栗原市  
農

初めて見る「ゆり」の球根に  
子どもたちは興味津々！

初体験の人が  
たくさん！



球根に土をかぶせて完成♪  
来年の夏までのお楽しみ～！

管理機で土をかぶせたら、レーキで土を整えて作業  
終了です。みんなで植えた球根は「イエローウィーン」  
や「マスカット」など、特に香りが良い11種類。今は  
殺風景なこの畑も、7月にはピンクや黄色のユリで  
いっぱい。泥だらけで頑張った女の子は「夏に家  
族で見に来たい！」と目を輝かせて話してくれました。

きれいに咲きますように！  
心をこめて植えました。

この日集まったのは、3歳から75歳まで総勢54名のみなさん。  
あいにくの空模様の中、「南くりこま高原一迫ゆり園」に向け  
て元気いっぱい出発しました。山を切り拓いて作った広大な  
お花畑は雨を含んでドロドロです。でも、植物たちにとっては  
恵みの雨。町おこしユリの会の皆さんの協力のもと、重い  
土と格闘しながら、ひとつひとつ球根を並べていきました。



栗原市  
食

初体験で  
ごはんが  
炊けるんだね

防災の面でも注目の「粃殻かまど」。  
じか火で炊いた新米を味わいました！



昼食のメインディッシュは新米です。前回  
のツアーでお世話になった「くりこま高原  
ファーム」の加藤さんが、昭和50年ごろま  
で米農家で使われていた「粃殻かまど」を  
用意して出迎えてくれました。絶妙な火力  
で炊き上げたお米はツヤツヤいい香り！お  
釜のふたを開けた時には、大人からも歓  
声が上がりました。おかずは「会席料理  
丸勝」さんによる栗原で収穫した旬の食  
材を活かしたバイキング。何度もお代わり  
しながら、秋の恵みに舌鼓を打ちました。



「粃殻かまど」の活動は、キリングループと取り組む東北復  
興・農業トレーニングセンタープロジェクトから生まれました。  
このかまどは、薪の代わりにお米を粃摺りしたあとに出る「粃  
殻」を使用するので、災害の際にも活躍します。そして何より  
ご飯がおいしい！この感動を子どもたちに伝えたいと思います。

栗原市  
観

渡り鳥への餌やりや、世界中の  
昆虫を集めた標本に大興奮！

栗原に生息する昆虫が勢ぞろい！  
大人も子どもも釘づけに。



最後に訪れたのは、9月に認定されたばかりの、  
栗駒山麓ジオパークのジオポイント、伊豆沼・内  
沼です。バスで移動しながら、栗駒山麓ジオパ  
ーク推進協議会のジオガイドさんから説明を受け  
たあと「サンクチュアリセンターつきだて館」で昆虫  
の生態を学習。「この周辺だけで60種の蝶が  
います」と聞いて驚く参加者たち。ずらりと並ぶ標  
本をじっくり見学しました。

夕暮れの沼に舞い降りる渡り鳥。  
ガンや白鳥の餌付けにもトライ

ピーク時には、10万羽以上の渡り鳥が訪れると  
いう伊豆沼・内沼。夕方には、群れをなしてねぐ  
らに戻る幻想的な風景を見ることが出来ます。  
沼のほとりでは餌付けにも挑戦。すぐ近くまで  
鳥たちが来てくれました。



第5回参加者の皆さんへ

実際に足を運んで体験してみれば、  
栗原の魅力を実感できると思います。  
この空気感は、ぜひ味わってほしい！  
ごはんも自然も最高ですよ。



第5回バスツアーは2月下旬開催予定！

仙台市 倉田さん親子

くりはらからの  
お知らせです！

伊豆沼・内沼  
渡り鳥のシーズンです！  
伊豆沼・内沼エコツアー「マガン観察」  
(早朝の飛び立ち・夕方のねぐら入り)開催中！  
マガンやハクチョウなど日本有数の渡り鳥の越冬地、伊豆沼・内沼に  
飛来した数万羽の渡り鳥は、早朝エサを求めて一斉に飛び立ちます。  
朝日や夕日を背景に、たくさんの鳥たちが空を舞う姿は幻想的。感動  
のシーンを味わうことができます。  
定員：各回6人(最小催行人員2人)  
参加費：1,500円(傷害保険料を含む)  
※参加申込は随時受付中。希望日の2日前正午までお申込ください。  
問い合わせ／くりはらツーリズムネットワーク TEL:0228-24-8588

南くりこま高原一迫ゆり園  
球根オーナー会員募集中！

区画内で15品種のユリ45球を1坪半(約5  
㎡)に植栽することができます。(年会費  
10,000円)申込方法は①氏名(フリガナ)  
②郵便番号③住所④電話番号を明記の  
上、郵送・FAX・Eメールでお申込みください。  
〒987-2308 栗原市一迫真坂清水堰地内  
南くりこま高原一迫ゆり園球根オーナー係  
FAX:0228-25-4751  
Eメール:info@ichiharasama-yurien.jp  
問い合わせ/TEL:0228-52-4551

栗原市稲住定住ガイドブック/  
「くりはら田舎暮らし」発行！

これから栗原を訪れてみたい人、  
暮らしを体験してみたい人に向けて、たく  
さんの魅力を丁寧に見つめ直し、一  
冊にまとめました。  
栗原市稲住定住サイト/  
来てみらいん！「くらしたい栗原へ」  
<http://www.kurihara-tju.jp>  
問い合わせ／栗原市企画部企画課 成長戦略室 定住促進係  
TEL:0228-22-1125

4回目のバスツアーの様子は「今できることプロジェクト」公式HP内の動画でもご覧いただけます。

河北 今できること 検索 facebook

主催：栗原市 河北新報社 協賛：KIRIN JTB 尚綱学院大学(順不同) 協力：くりはらツーリズムネットワーク

【お問い合わせ】 今できることプロジェクト事務局／河北新報社営業部 TEL.022-211-1318(平日10時～17時)